

齋富南方地区ほ場整備事業に伴う発掘調査  
なかいけみなみ  
令和4年度中池南遺跡発掘調査現地説明会資料

はじめに

岡山県赤磐市教育委員会では、岡山県備前県民局の委託を受け、令和元年度から齋富南方地区ほ場整備事業に伴う発掘調査を実施しています。令和元～3年度までは齋富遺跡を、今年度は中池南遺跡を調査しています。

中池南遺跡は、齋富遺跡の北東、中池と前池に挟まれた谷地形の起点近くに立地します。平成28年度に実施した確認調査では、古代に属す柱穴が見つかり、周辺には古代の集落が広がっている可能性が高いと考えられました。

また、これまでの令和元～3年度の齋富遺跡の調査では、縄文時代晩期の土器を含む河道やたわみをはじめ、弥生時代後期前半と考えられる竪穴住居が検出されました。また、古墳時代終わり以降の製鉄・鍛冶関連遺物を含む溝、たわみなどや側柱・総柱の掘立柱建物が何棟も見つかっています。さらに、古代と考えられる道路状遺構も確認されました。齋富遺跡では、3,500年も昔の縄文時代から人々の生活が続いていることが明らかとなってきました。

中池南遺跡の調査の成果

発掘調査は11月から開始しました。現在も実施中ですが、これまでに分かったこととお伝えしたいと思います。

今年度の調査区は東から西になだらかに傾斜する地形に集落が展開しています。中央付近が一番低く、その北側に2×3間の掘立柱建物（側柱）が見つかりました。柱穴は一辺60～70cmの隅丸方形を呈し、建物方位が真北方向を指向しています。ほかにも溝や建物が検出されました。これらは、出土した須恵器や土師器から古代（奈良時代か）の遺構と想定されます。

また、弥生時代の楕円形や方形の土坑や溝が見つかっています。

おわりに

今回の調査により、中池南遺跡では、古代（奈良時代か）を中心とした時期に集落が広がっていたことが判明しました。この成果は、赤磐市の古代集落の基礎的な資料となる貴重なデータです。齋富遺跡で見られた縄文時代や古墳時代の遺構は見つからなかったため、この時期には集落が展開していないこともわかりました。

最後に、調査にご協力いただきました地元及び関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

岡山県赤磐市教育委員会 社会教育課  
〒709-0816 岡山県赤磐市下市337（山陽郷土資料館内）  
電話：086-955-0710 FAX：086-955-0758  
調査中であり、内容が変わることもありますので、本資料の引用・転載はお控えください。



1 中池南遺跡 2 齋富遺跡 3 友田遺跡 4 馬渡遺跡 5 齋富古墳群 6 南方前池遺跡  
7 南奥池古墳群 8 雨壺古墳群  
■：今回調査区 □：R1～3年度調査区

図1 中池南遺跡と周辺の遺跡・埋蔵文化財包蔵地（1/10,000）

時代	器名	生産地の須恵器			
飛鳥	鳥かぶり式・寒風一式				
	土器式				
奈良	さらし瀬池式				
	根切池式				
平安前期	東山式				
	油杉式				

図2 吉備における古代の須恵器編年  
出典：山本悦世 2002 『寒風古窯址群』  
吉備考古ライブラリ7 吉備人出版

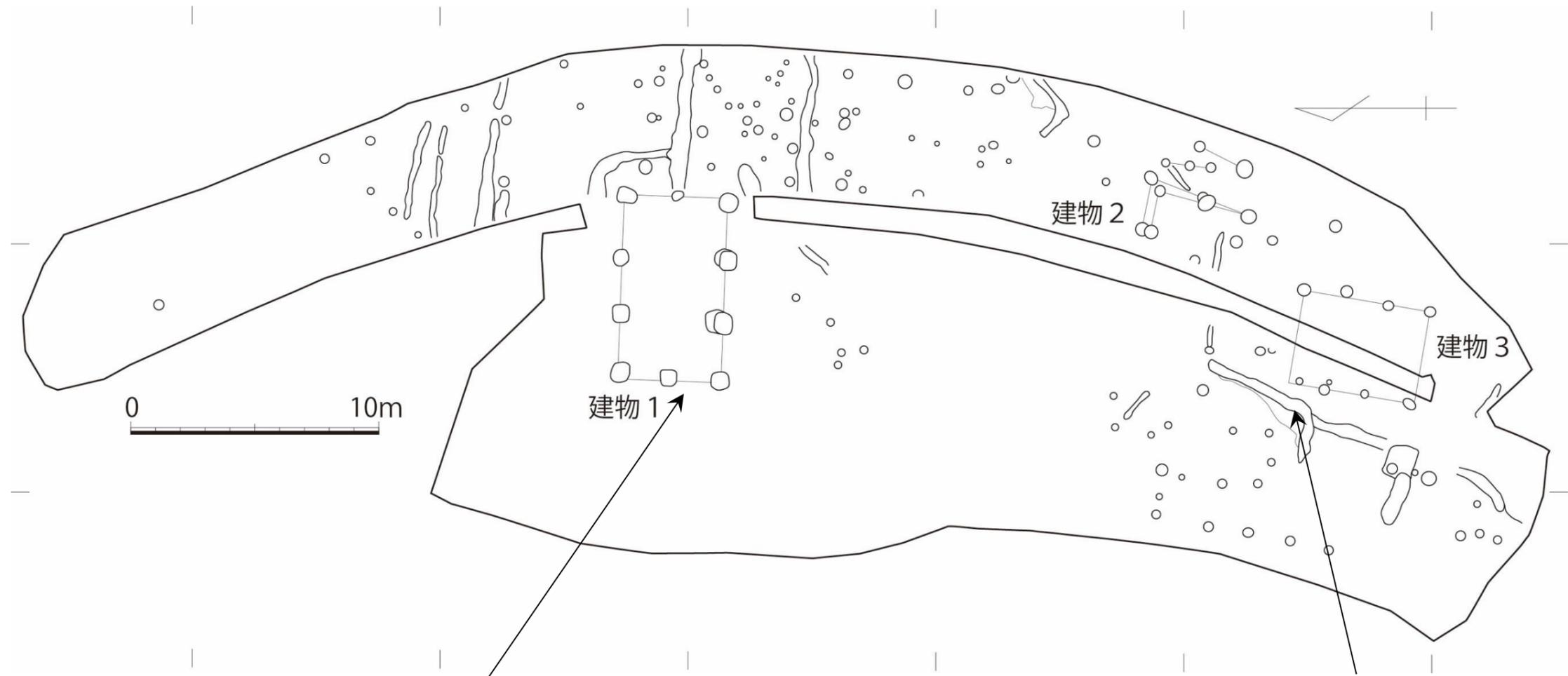
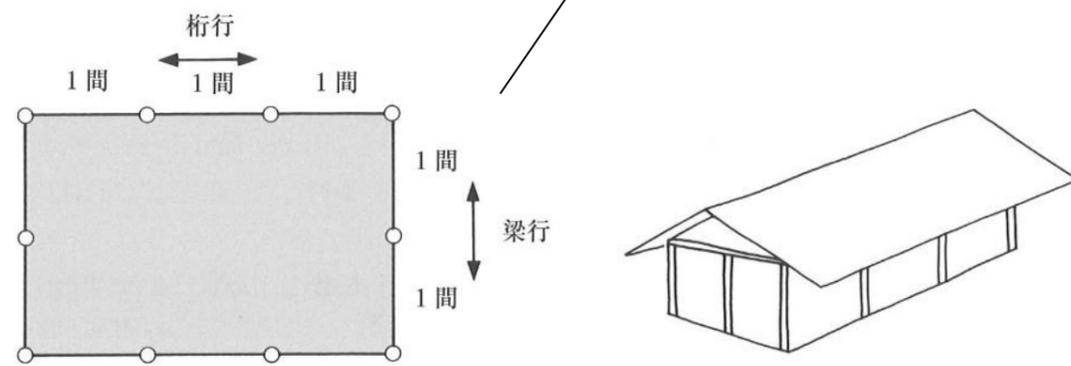


図3 遺構配置図 (1/200)



「桁行3間・梁行2間」の平面

図4 掘立柱建物の構造

出典：奈良文化財研究所 2003『古代の官衙遺跡』I 遺構編



写真1 須恵器杯B蓋や丹塗り土師器の出土状況